



日本共産党品川区議会議員

# 週刊 みやざき克俊 ニュース

2010年5月2日・9日 合併号 No.706

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL.3786-6674

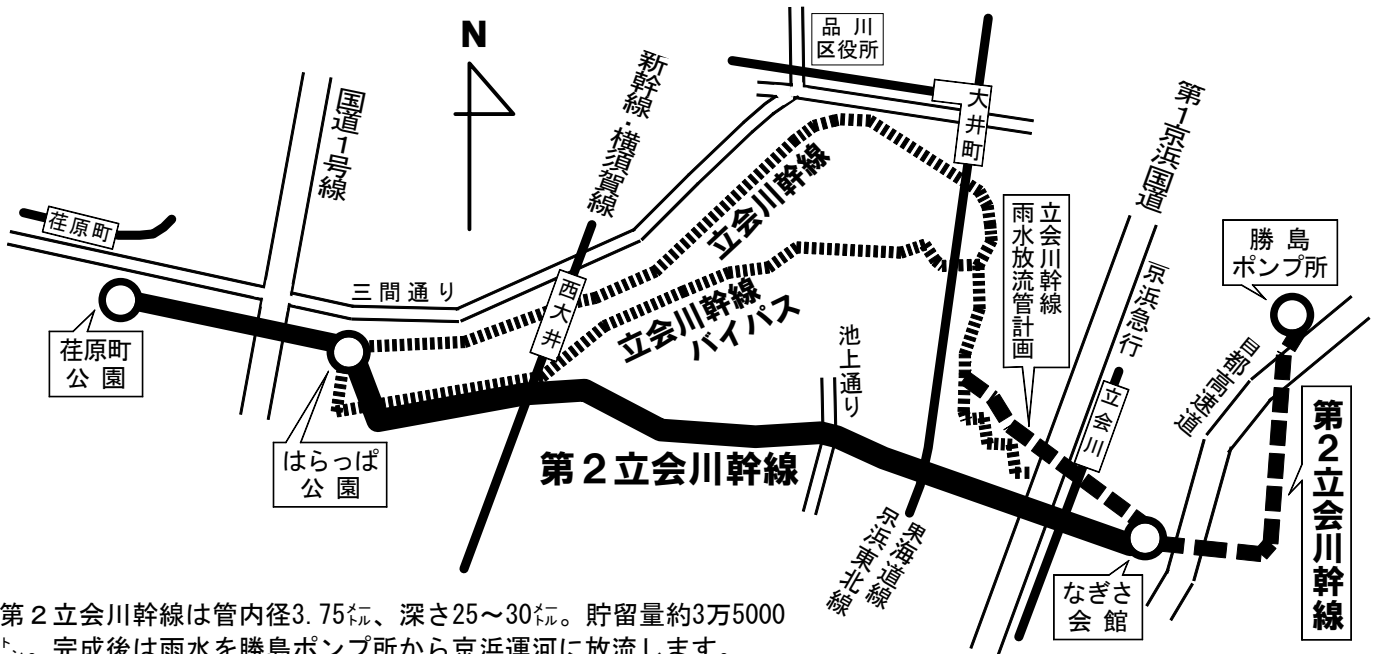


共産党 品川

検索

# 第2立会川幹線が稼働

## 二葉・中延の水害は軽減するが…



第2立会川幹線は管内径3.75m、深さ25～30m。貯留量約3万5000m<sup>3</sup>。完成後は雨水を勝島ポンプ所から京浜運河に放流します。

品川区の主な浸水被害(床下および床上)：04年台風23号(最大雨量35mm/時間)147棟、02年集中豪雨(64mm/時間)397棟、99年集中豪雨(77mm/時間)2,725棟、93年台風11号(47mm/時間)118棟 等

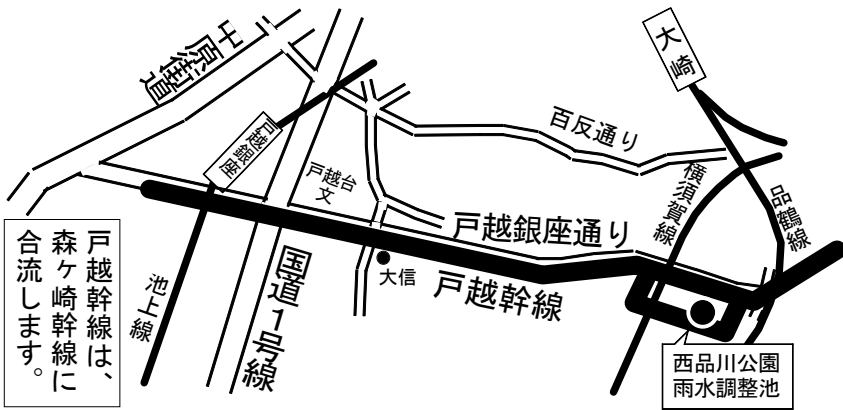
二葉・中延の地域では99年と02年に集中豪雨による浸水被害が相次いで発生しました。第2立会川幹線は、立会川流域の浸水被害軽減のために東京都が01年度から設置工事をすすめていたものです。今回、荏原町公園(中延5丁目)から勝島のなぎさ会館までの約3・2km部分の工事が完成し、雨水を放流するための勝島ポンプ所までつながっていないものの、雨水を取り込む「貯留管」として今年2月より使用が可能となりました。立会川幹線と同バイパスに加え第2立会川幹線が稼働したことにより、立会川流域の水害被害の軽減が期待されます。

第2立会川幹線は、なぎさ会館から勝島ポンプ所間1・0kmのトンネル、ポンプ所、設備などの設置は都が引き続き工事をすすめています。第2立会川幹線は最終的に目黒区碑文谷まで通す計画です。

## 戸越銀座通り

# 戸越幹線は来年2月 から使用可能に

戸越銀座通り、三ツ木通りの戸越幹線も来年2月ごろ貯留管として暫定利用ができる見通しです。工事は予想外の出水などで予定より遅れていました。戸越幹線は完成すると森ヶ崎幹線につなげて雨水を排水します。



戸越幹線の後に、電線類の地中化工事を実施し2012年に終了予定。

戸越銀座通り、三ツ木通り付近では昨年の台風の際にも浸水被害がありました。都は被害の軽減策として「戸越幹線」工事をすすめていました。戸越幹線は01年から工事に着手し、下流部で西品川公園に雨水貯留池を整備。06年に上流部の荏原地区と平塚地区で貯留管を整備して、現在は中流部での6千トンの貯留管の工事中（来年2月に完成見込み）です。これが完成すると上流部と下流部合わせて1万800トの水を貯めることができるようになります。

## 「時間50ミ」は不十分 抜本策が必要

99年と02年の集中豪雨の際、私（みやざき）は雨の中を浸水被害が発生した二葉地域を調査し議会で質問。立会川流域の対策として、五反田の目黒川で成果を上げた「調節池」（荏原青果市場跡・都営住宅の地下）を西大井広場地下にも設置するよう提案してきました。



東京都の対策は、西大井広場への調節池でなく第2立会川幹線の設置でした。しかし、問題は第2立会川幹線は「1時間あたり50ミの降雨」に対応する施設だということです。戸越幹線も同じ「時間50ミ」対応ですから、浸水被害は根絶されません。

「時間50ミ」とは「バケツをひっくり返したような大雨」のことで統計上3年に1回降る雨です。ところが、近年時間50ミを超える集中豪雨やゲリラ豪雨が頻発。大きな浸水被害が生じた99年は最大降雨量が時間77ミ、02年は時間64ミでした。「時間50ミ」を超える降雨対策への抜本的強化が求められています。

ゲリラ豪雨の原因が巨大ビル群によるヒートアイランド現象だと指摘されています。巨大ビルの足元で水害…品川のまちづくり、大規模開発は抜本的に見直すべきです。

戸越幹線が使用可能になると地域の安全度は降雨量にして1時間5ミ分の能力がアップ、おむね1時間50ミの降雨に耐えられることとなります。浸水被害が多発していた戸越銀座通り

は、国道1号線の西側から新幹線・横須賀線が通るあたりまでの地域で安全度が高まり、1時間あたり50ミより小さい降雨量なら浸水被害はなくなると見込まれています。